

No.230	<a href="#">2026年度 水素利用拡大に向けた共通基盤強化のための研究開発事業の追加公募</a>	
機関名	<a href="#">国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)</a>	
募集締切 (公募機関)	2026年4月2日(木)	正午
本部研推締切日	研究推進部 事前連絡締切日	2026年3月19日(木)
	原議書提出締切日	2026年3月26日(木)
応募方法	<p>電子申請システム「Jグランツ」上で応募申請してください。</p> <p>※本公募は事務局において事前了解の手続きを行いますが、「Jグランツ」への応募情報の入力には各申請者が行ってください。</p> <p>※「Jグランツ」登録の際、GビズID取得については、「個人事業主」として、研究代表者ご本人にて登録願います。 登録に関する詳細については、下記資料を参照ください。</p> <p>&lt;GビズIDクイックマニュアルGビズIDプライム編(個人事業主)&gt; <a href="https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime_sole-proprietor.pdf">https://gbiz-id.go.jp/top/manual/pdf/QuickManual_Prime_sole-proprietor.pdf</a></p> <p>&lt;GビズID申請URL&gt; <a href="https://gbiz-id.go.jp/top/apply/create_prime.html">https://gbiz-id.go.jp/top/apply/create_prime.html</a></p> <p>&lt;NEDO事業の公募におけるJグランツでの応募受付について&gt; <a href="https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html">https://www.nedo.go.jp/koubo/ZZAN_100061.html</a></p>	
所属研究機関の承認(e-Rad)	不要	
研究推進部 事前了解 (原議書の回付)	必要	
概要	<p>水素の本格的な普及拡大および我が国の産業競争力強化に向け、水素製造と利用の両翼を担う水電解装置と燃料電池の研究ならびに技術開発を加速化させる。</p> <p>NEDO技術開発ロードマップで示すように、大型商用車の製品ニーズへの適合および水素製造コストの低減に向けては、より一層の高性能化、高耐久化、低コスト化が求められ、従来の研究スピードを大幅に向上させる必要がある。</p> <p>本事業ではDX技術を最大限活用し、燃料電池・水電解分野の研究加速に貢献する共通基盤を構築するとともに、革新的な要素技術開発を連動させることで、本分野の競争力強化を図る。</p> <p>研究開発項目I「燃料電池・水電解の共通基盤技術開発」 NEDO技術開発ロードマップ等で定める2035年以降の目標実現を目指して、燃料電池(主にHDV向け)開発および水電解開発の高度化・高速化に資する共通基盤技術を開発する。</p> <p>研究開発項目II「次世代燃料電池・水電解の要素技術開発」 NEDO技術開発ロードマップ等で定める2035年以降の目標実現を目指して、燃料電池(主にHDV向け)および水電解、水素貯蔵タンクに関する要素技術を開発する。</p> <p>研究開発項目III「燃料電池・水電解の実用化技術開発」 2035年以前の実用化・事業化を目指して、燃料電池(主にHDV向け)および水電解、水素貯蔵タンクに関する生産技術・システム化技術等の実用化技術を開発する。</p> <p>●公募内容 今回開始する公募は上記事業内容のうち、「研究開発項目II次世代燃料電池・水電解の要素技術開発(生産技術分野)」、「研究開発項目III燃料電池・水電解の実用化技術開発」となります。 公募対象技術の詳細は公募要領をご確認ください。</p> <p>①研究開発項目II 次世代燃料電池・水電解の要素技術開発(委託) ・PEFC分野(うち生産技術分野)</p> <p>②研究開発項目III 燃料電池・水電解の実用化技術開発(補助) ・水電解</p>	

※ 貴部局にて申請がある場合は、事前連絡締切日までに所定の《事前連絡様式》にて、研究代表者名・研究分担者名等の連絡をお願い致します。

※応募に関するお問い合わせは各部局の担当者までお願いします。